



奈良県認証事業所

きららの実

KIRARANOKI-TSUSHIN

あなたがいるからわたしはうれしい



NPO法人 きららの木 〒631-0061 奈良県三碓町2250-11 TEL:0742-41-2801 FAX:0742-41-2802 <http://www.kiraranoki.or.jp>

理念

一人ひとりを人として大切に

CONTENTS

- 2 夏のつどいinきららの木
～笑う門には福祉あり～
- 4 法人設立記念事業
7月8日記念講演と表彰
- 6 職員インタビュー
- 8 事業所の取り組み～10周年企画～
- 12 賛助会員
エレベーター設置事業のお願い





ここにつどい つながる笑顔!!

夏のつどい in きららの木

共催: NPO法人きららの木

奈良市社会福祉協議会鳥見ふらっと

後援: 鳥見地区社会福祉協議会

なべや焼肉店

植村牧場

鳥見地区社会福祉協議会

香り玉

青葉仁会

菜花園

2019年10月

法人設立10周年 初イベントで広がる

令和元年8月16日金16:00-19:00

500人
来場

輪

奈良市社会福祉協議会が2年間築きあげた「夏のつどい」を
今年は、きららの木に会場を移し開催しました。法人設立10周年を記念する節目の年。
地域のみなさまや、日頃からご支援いただいている方々にご来場いただきました。
各関係団体の模擬店ご協力のもとで楽しく開催できましたこと感謝申し上げます。また、この
つどいを通じて、きららの木のことを多くの人たちに知ってもらえる機会となりました。
原点に立ち戻り初心を忘れず、地域に必要とされる法人を目指して歩んでまいります。



10周年記念講演

演題：障がいのある人たちの「働く」と「暮らす」を考える
～こぶし会が大切にしていること～

古木氏より障がいの重い人が生まれてきて良かったと思える社会づくりをなかまを主人公として実践されているお話ををしていただきました。

職員の感想

◆「なかま」がお亡くなりになられたお話の中で、周りの方々、「親孝行したね」と言っていたこと、私たち親として、子どもが自分より先に亡くなり親孝行なんてありえない事であるのに、障がいのある子どもさんがおられるご家庭では、それが普通になっている。何十年経った今も変わっていないだろうと思われる社会に自分の無力さに涙がとまりませんでした。

講師：古木 一夫氏

社会福祉法人 こぶしの会 常務理事
コミュニティワーク ニッカから 施設長
特定非営利活動法人 きららの木 理事



▲2008年9月法人立ち上げ前の保護者定例会の様子

令和元年7月8日 法人設立10周年を迎える 新たな未来への第一歩を踏み出す 「きららの木」

きららの木は、10年前、障害のある子どもたちの保護者とそのなかまが特別支援学校卒業後も、また親亡き後も安心して暮らせる居場所づくりを目指して立ち上げた法人です。

原点に立ち返り

法人設立10周年を迎えるにあたり当法人を今まで共に支え、育てて下さったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

10年前も全てに必死で全てに本気でした。重度の障害のある子どもの母親として、「子育て」、「日々の暮らし」「生きる」の中で、法人設立そして事業開始へと奮闘の日々でした。子どもたちに押し寄せる未来の不安の中、明るい夢と希望を掲げて、強固な意志のもと第一歩を踏み出しました。何もなかつた無形のものからの挑戦が始まりました。原動力は「子どもたちの笑顔」。ただそこでもの将来を案ずる深い愛情でした。なかまの保護者と苦楽を体験する中、諦めるという選択肢を選ばず、夢の実現に向けて歩み続けました。時を経て、10年後の今日、このようを迎えられるとは想像すら及びませんでした。当初から御指導いただいております諸先輩はじめ、私たちを応援してくれている賛助会員の皆様、多くの支援者の皆様、関わってくださったすべての皆様に心より深く感謝申し上げます。

これからも全ての子どもたちに、分け隔てなく、深い愛情をいつ何時も変わることなく持ち続けます。

10年という歩み これからのおまちづくり

平成から令和へと元号も移り変わり、この10年で子どもたちを取り巻く環境も目まぐるしく激変を遂げています。平成26年に「障害者権利条例」が批准され、平成28年には「奈良県障害の人一人の権利として当然の権利を持つことができました。国や県、市の福祉施策の動向を踏まえ、当法人のあり方、目指す方向を、利用者の皆さんと共に考えていく時がきました。利用者の皆さんのがいが多岐にわたってきており、個々人の抱く支援も多様なものが必要となります。事業内容を見据えて再考します。あわせて、地域づくりの役



受賞者のインタビュー 6、7頁をみてください!!

（理事長 江川美奈子 記）
域住民のみなさんの生活につながりをもつて活かしていくことができるよう歩んでまいります。「福祉でまちづくり」に向けて、地域の皆さん、地域の福祉団体、関係行政機関と連携して新たな一歩を踏み出します。

「あなたがいるからわたしはうれしい」一人ひとりが存在を認め合い、支え合い、人が集いつながら、共に生きてゆけるよう常に笑顔で歩み続けます。



▲kira (奈良市六条)



▲華で厳る (生駒市若分町)



▲たのしいリーフ／相談支援



▲本部／きららの木 いろ葉／スマイルライフ きららの木



▲事業所全体 (奈良市三碓町)

受賞者インタビュー

事業開始当初(2011年)からの在職者に対して功労賞、その他特に功績を残した者に奨励賞を授与しました。

利用者のみなさんと同様に職員も大切です。職員の幸せは私の幸せです。これまで激動の中歩んでこれたのも、日々現場で踏ん張ってくれた職員がいてくれたからこそです。夢の実現を担い挑戦し続けてくれた職員に敬意を表します。苦楽を共にし、小さなことでも大きな感動を、人の喜びに共感し、時には悩み、時には泣き、そして助け合い、励まし合い、立ち上がり…そんな日々の積み重ねが今日をつくりました。これからも幾多の壁にぶつかり困難に直面することがあると思いますが、ご縁をいただいた出会いを忘れず笑顔に切り替えていきます。すべての職員の物心両面の幸せを常に考えこれからも歩み続けます。

理事長 江川美奈子

きらら 竹島 良子

功労賞

A1 本当に何もないところから、こんなに大きな法人になると思っていませんでした。保護者が集まり定例会も他事業所をお借りしていました。リーふ、いろ葉をみんなでリフォームできた事、子どもたち、利用者の方々が笑顔で活動している様子を見て、とてもうれしく思いました。やはり特に印象にあるのは、物件リーふ、いろ葉に出会うまでの事が一番心に残っています。そして出来た時の喜びは今も忘れることができません。

A2 利用者様の事をいつも中心に、たくさんの笑顔につながる支援ができる様に、ひとつひとつ、ていねいに取り組みたいと思います。

A3 美味しい食事の温泉など行ってみたいです。

たのしい リーふ 有山 洋子

功労賞

A1 10周年おめでとうございます。振り返ると書ききれない思い出が出来ました。

始めて事業所「リーふ」が見つかった時の嬉しさ・不安、自分たちで壁・天井を塗ったり、床を貼ったりもしました。目指していた生活介護「いろ葉」の事業所も同じように自分たちの手で綺麗にして、私のそれまでの生活では出来ない経験をすることが出来ました。

子どもたちが幸せに暮らせるように、理事長が立ち上げを決心してくださって、たくさん的人が集まって「きららの木」が育ってきました。出会えた方に感謝の気持ちを忘れず、この先もきららの木に携わって行きたいと思っています。10年ありがとうございました。これからも宜しくお願ひいたします。

A2 一日でも長く働くこと。相手の立場に立って考える。

A3 ありすぎて迷っています。

たのしい リーふ 大谷 明代

功労賞

A1 理事長との出会いです。「週に2日、そうじに来て!」「面接はいいですか?」と問うと、「私が良いと思う人が良いと思う人はいい人なのよ!」と断言されたことが印象的です。女性(母親)が働きやすい職場、という想いを職員にむけていただいた理事長は、職員の家族、子ども(時には実家も)のことを大切に想い、いつも気にかけて頂いています。私の子どもが不登校で仕事をやめようと思っていた私に、休職し、本気で子どもとぶつかってみなさいと言ってくれたことが今の私のターニングポイントになっています。

A2 ・笑顔で元気よく働くこと。
・初心を忘れずに。

A3 ラスベガスに行きたいけど、もう一度北海道

たのしい リーふ 宇野 さゆり

功労賞

A1 友人の紹介で、きららの木で働き始めた私は、わからない事ばかりでしたが、利用者さんの笑顔や多くの方々の支えがあって、今日まで働き続けることが出来ました。生活介護の第1回成人式では、司会をさせていただき、成人を迎えた利用者さんとご家族の姿を見て、胸がいっぱいになりました。また、放課後等デイサービスでは、中等部や高等部の利用者さんが小学校にいた頃の事を思い浮かべながら、一つひとつの成長に、日々感動しています。これからもきららの木の利用者さんのそばで、喜びを感じながら働いていきたいです。

A2 当初よりずっとパート職員として、自分に合った働き方をさせていただいて感謝しています。少しでも長く働き続けたいです。

A3 愛媛?岡山?たくさんあります、迷っています。

たのしい リーふ 倉本 恵美

功労賞

A1 きららの木では有名な話ですが、当時の私は支援者ではなく、運転手で働かせて頂いていました!! しかもパートでした。一番印象に残っている事は、これしかないです!! 江川さんについていくと決めた瞬間!! 座卓で理事長に面接して頂きすぐにOK頂いた事にもびっくりしましたが、理事長の想いに触れ、心が揺さぶられ、二人で号泣した事は一生忘れません。生きてきた中で直接で泣くなんて経験これからもないと思います(笑)。

A2 私は9年目になりますが、まだ修行の身。おごる事なく、毎日謙虚に仕事していきたいと思ってます。法人に対しても当たり前ですが、関わっている周りの人々に感謝の心を忘れず、すべては子どもたちのために頑張ります!!

A3 場所はどこでもいいですが、券を頂いた職員で行けたら最高です!!

10年日々勉強であつという間でした!! 子どもたちの気持ちをどうすればわかってあげられるのか…悩みました(汗)周りの職員に助けられ、子どもの笑顔に癒され楽しい10年でした。ありがとうございます。

たのしい リーふ 柴 孝子

功労賞

A1 この7年10ヶ月は、一期一会のひと言につきるように思います。きららの木を立ち上げた理事長、そして理事長と顔見知りであった人との偶然の出会い。この出会いのおかげで、たくさんの感動と笑いと涙を共有させていただきました。きららの木に入るまで、子どもたちの支援とは無縁だった私は、当初は失敗続きで困難の連続でした。それぞれの子どもたちへの支援の仕方も分からなくて、数ヶ月後の職員会議で「どうして良いか、本当に分かりません」と発言しました。叱られるのか、あきれられるのか、怖くてドキドキしている私に、理事長は、「よう言うてくれたね」と。その後の約ひと月、全職員が交代で私のフォローをしてくれることに…。心強くて本当に嬉しかったです。その時助けてくれた同僚たちは、みんな、今も、各部署のリーダーになって活躍されています。

きららの木に入ったからこそ出会えたすばらしい人たち、そしてかわいい子どもたちに助けられて、人として成長させてもらっていると感じます。

A2 スタート時があまりにどんなさかだったので、ずいぶん成長したとは言うものの、まだまだ日々学ぶことがあります。

家庭の事情を汲んでくださり、短時勤務で働かせていただいているが、支援に入る時は、初心を忘れず、みんなと協力し合って成長していくことを思います。

A3 まつたけ or 伊勢エビを食べに行きたいです。

たのしい リーふ 英 由佳

功労賞

A1 私はきららの木に入り8年が過ぎました! 印象に残った一番の出来事!! それは「江川理事長、きららの木との出会い」です。私は親の介護を終え、仕事を再開しようとしていた時、知り合いからきららの木を紹介されました。しかし「私には無理だろう!」でも知らずに断るのは失礼。話だけ聞いてお断りしよう」と決め、その日に伺いました。2時間江川理事長から立ち上げから今後の夢など熱く涙ながらに聞いた私は、その帰り道「この理事長と働いてみたい!!」と180度気持ちが変わっていました!! 今でも何が起きたのかわかりません(笑)。この出会いで今があります。

A2 きららの木、そして、たのしいがあって良かったと思って頂けるよう、職員力を合わせて頑張りたい。(子どもたちの笑顔の為に!!)

A3 日本: 山口県 海外ではイタリア

きららの木 いろ葉 金本 佐紀子

功労賞

A1 私が耕太郎さんと出会ったのは、彼が養護学校高等部の時でした。毎週金曜日は耕太郎さんの支援の日でした。

3年間、本当にいろんな所へ出かけました。バスに乗り、電車に乗り、そしてお父さんから「部活の先生」と呼ばれるほどたくさん歩きました。これが耕太郎さんのお母さん「江川美奈子」との出会いです。「この人と働いてみたい」と思ったのです。確かに、想像を超える人でした。

A2 きららの木の利用者さん、家族、職員みんな同じ「ひとりの人」。それをいつも忘れないで、毎日を笑顔で過ごします。その積み重ねが、みんなを幸せにすると信じます。

A3 短期間なら台湾。長期で行けるならポルトガルとか。

相談支援 田崎 智咲斗

奨励賞

A1 きららの木との出会いから私の人生は前を向いて歩み出しました。初めて江川理事長と会った日に、私にくれた「田崎さん、幸せになるために生まれてきたんだよ」という言葉が、今の私の支えとなっています。

職員同士、皆仲が良く、理事長手作りのランチ(カレーライス)の味は忘れられません。子どものこと保護者のこと、学校のこと、プログラムのこと全て話し合ってすすめてきました。

A2 誰もが「自分らしく」生きる、暮らすことができる社会づくりに向け、アンテナを広く張り、1人でも多くの人の関わりの中で学び続けます。

きららの木を世の中の人みんなに知ってもらう発信力!!

A3 青森ねぶた祭り

「人として」という一番大切なことを常に胸に置いて一人一人の相談に丁寧に向きあおうと思います。

それぞれの事業

●放課後等デイサービス「たのしいリーふ」



事業開始から9年目を迎える放課後等デイサービス。この8年間、特に放デイに関しては、国の施策により、事業名称及びその概要に再三の見直しが図られました。私たちは、いつの時も目の前の子どもたちのことについて想いをよせ、未熟ではありますが心一つに歩んでまいりました。10年の記念事業に加え、新たなプログラムにも挑戦しました。

10周年記念事業
Part1

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンに行こう
昨年度の卒業イベントで初のUSJ日帰り旅行！



10周年記念事業として、放課後デイサービスで初めてUSJへ行きました!! 子供たちは、一日大変楽しく過ごすことができました。
たのしいリーふで出会ったみなさん。
ともに成長を確認し、喜び合いました。
みんなで最高の思い出を作ることができました。それぞれの旅立ちに、これからもずっと応援しています。
「みんな、ありがとう」職員一同心をこめて

10周年記念事業
Part2

泊りにおいでよ
～初めてのお泊まりイベント～

2019年8月10日。たのしいリーふの子どもたちと一泊二日！夜も一緒に過ごしたからこそ普段よりもずっとずっといろんな様子、いろんな表情が見られ、子どもたちとの関係がさらに深まりました。盛りだくさんの活動に溢れんばかりの笑顔。夏の最高のイベントとなりました。



ともだち同志や職員との関わり。またひとつ成長を垣間見ることができました。これからもいろいろな体験を積み重ね、子どもたちの自信につながるよう療育していきます。

新プログラム

1. オリンピック種目
空手体験
2. パラリンピック種目
に挑戦
ボッチャ
3. お昼何作ろう？
4. リトミック
5. ミュージックタイム
6. 忍者になろう！



●放課後等デイサービス 重症心身障害児 きらら



この夏 五感を使って
たっぷり楽しんだよ！

- ・水あそび
- ・おでかけプログラム
- ・かき氷 アイス作り
- ・夏のつどい
- ・光あそび etc

新たな取り組み

●多機能型 児童発達支援・放課後等デイサービス「たのしいリーふ」

10周年記念事業
Part1

午後療育始めました!!
月曜・金曜 (14時30分から16時30分)

かねてからご要望がありました午後療育に取り組みます。幼稚園等へ通いながらも継続して療育を受けたい、そのニーズを実現しました。



保護者にインタビュー

幼稚園にもすっかり慣れ、お友達関係築けているので幼稚園を休ませるのは…という思いがあったので、午後療育ができる幼稚園を休ませる事なく療育にも通えるのでありがとうございます。
（中略）
ゲーム的なもの、数やトランプを使ってなど、小さい子がいればできないかなという活動も年長さんの大きい組さんならではの療育も取り入れて下さり午後に変えてよかったです。

午前の部では、幼稚園の練習のような基本を丁寧に教えていただき、幼稚園での生活にスムーズに入ることができました。

午後は、就学に向けての課題など細かい部分を少人数で見てもらえるので、家庭でも参考になります。今後は、苦手なコミュニケーションやイメージする力などをつけていくようなSST要素を入れていただけたら嬉しいです。本人も集中しているようで、やった事をよく覚えていて、自信を持っています。1つ1つ成功体験を作っていただいて、感謝しています。就学まで、できる限り続けていきたいと思っています。

10周年記念事業
Part2 2019年度初
親子通園

保護者の感想

みんなと体操する様子やいすに座っている様子をとても嬉しく見せてもらいました。貼ってあった写真を見ても普段から楽しく安心して過ごしているんだなと感じました。シャーベット作りも楽しかったです。

グループの話も幼稚園や他の療育に行っている話が聞けてよかったです。また他の保護者と情報交換できる機会があれば参加したいです。本日はありがとうございました。

●放課後等デイサービス 重症心身障害児 きらら

きららが生まれて3年を迎えました。利用している子どもたちと毎日楽しく、季節を感じながら活動しています。子どもたちが少しでもいろんな体験ができ安心して過ごせる居場所であるよう、共に成長していきます。関係団体との横のネットワークを大切にいろんなことにチャレンジしていきたいです。



バージョンアップ
version up

生活介護 2019年度の取り組み



Newプログラム!! 香り玉ポマンダー作り

きららの木
いろ葉
※NPO法人Rainbow Children Japanが取り組んでいる香り玉プロジェクトの香り玉のポマンダーを香り玉工房と提携して作っています。

香り玉の中に入れるポマンダーを1つずつ手作りしています。天然の木からできた粘土をまるめて、みんな真剣そのもの。ペンダントやストラップのアクセサリーになります。



華 畑 華で厳る



華畑は無農薬の野菜にこだわり作っています。採れた野菜はランチなどでみんなでいただきます。今年の夏は、ナスとオクラ、パプリカが豊作でした。秋はさつまいも。児童部門の子どもたちにも芋ほり体験ができるよう育てています。小さな小さな畑、そのスペースを最大限有効活用し、様々な種類の野菜を育てるに試行錯誤を重ねています。

今こんな果物も育っています



生駒市花と緑のわがまちプロジェクト!! 本年度も採択いただきました！



ひまわりのように明るく元気いっぱいの皆さんの笑顔が今日も満開です。秋には、コスモスが咲きそろいます。

秋のまつりのお知らせ

令和元年 10月20日(日)
六条ふれあいまつり
(奈良市・六条小学校にて)

令和元年 11月2日(土)
いこいこまつり
(生駒市 社会福祉法人かざぐるまにて)

みなさん遊びに来てくださいね！
きららの木模擬店出店します



ボランティア募集 楽しいが一番!!

ご利用者さんと楽しみ、悩み、喜び、感動を分かち合いませんか。
1時間程度の短時間でも助かります。ボランティアさんとの出会いを
楽しみにしています！

- 日常生活のお手伝い
ウォーキングなど
- 趣味・特技のお手伝い
書道・パソコン・スポーツなど
- 軽作業のお手伝い
香り玉、お針仕事、畑など
- 行事のお手伝い などなど
模擬店・会場準備など



相談支援 部門

相談支援センター きららの木 きらきら

計画相談では、関係機関の皆さんと積極的に協力体制を作ってくださることが当たり前になります。平成29年12月には文部科学省と厚生労働省が「家庭と教育と福祉の連携『トライアングル』プロジェクト」を発足し、行政分野を超えた切れ目ない連携、より一層の連携促進の方策が検討されています。

本人が抱えるそれぞれの課題（行動面、情緒面等）に対し、私たち相談支援専門員が答えを出すことはできません。ただ、一人ひとりに正面から向き合い、相談員が一人で抱えることなく常に関係機関（家庭、医療、福祉等）と連携し、一人ひとりのニーズ（見えにくい課題や、見せたくない不安等）に気付くことができるよう寄り添い、実行することが大切だと考え日々奮闘しています。皆さんのがホッと笑顔になる、そんな相談支援センターきららの木きらきらの部屋は「安心感と清潔感」をモットーに皆さんをお待ちしています。



居宅介護 行動援護 移動支援部門

スマイルライフ きららの木

2012年10月に外出時等における行動する際の援助を行う事業を開始しました。1対1のきめ細かい支援を提供しています。どこへ行くか何をするか、本人の意志を尊重し、保護者とも連携を密にとっています。行動範囲が広がることによって豊かな人生につながると信じています。



2014年5月に、居宅における入浴などの介護事業を開始しました。利用するみなさんの嬉しそうな表情に会えうこちらも幸せになります。丁寧な関わりから温かい支援につなげていきます。

3つの ご協力の お願い

1. エレベーター設置へのご寄付

みんなのエレベーター
設置の応援お願いします！



現在2階への移動は階段を使用

1口 500円
何口でもありがとうございます。



2. 通常賛助会員の募集

通常賛助会員

| | | |
|----|----|--------|
| 個人 | 1口 | 3,000円 |
| 団体 | 1口 | 5,000円 |
| 企業 | 1口 | 5,000円 |

●お問合せ先

NPO法人 きららの木 担当 江川
〒631-0061 奈良市三碓町 2250-11
TEL 0742-41-2801

●振込先

・南都銀行 西ノ京支店 普通 2046124
・ゆうちょ銀行 00920-5-288117

※振込手数料はご負担お願いいたします

3. スタッフ募集

あなたの笑顔がまちの顔になる

私たちは、ご利用者と楽しみ、悩み、喜び、感動を分かち合います。

◎保育士、支援員、ドライバー、調理員、資格なしでも気持ちのある方
パート・常勤スタッフ募集しています！

私たちと一緒に
働いてみませんか！



詳しくはホームページ <http://www.kiraranoki.or.jp>

役員及び 組織図

2年間よろしくお願いします

役員

理 事 (7人)

理事長 江川美奈子
副理事長 奥田 芳久
理事 古木 一夫
理事 上司 永照
理事 中村 大蔵
理事 荒木 範子
理事 竹島 良子

監 事 (1人)

中川 正成

評議員 (3人)

櫻本 博久
奈良東養護学校 田中 秀治
奈良西養護学校 田和 成司

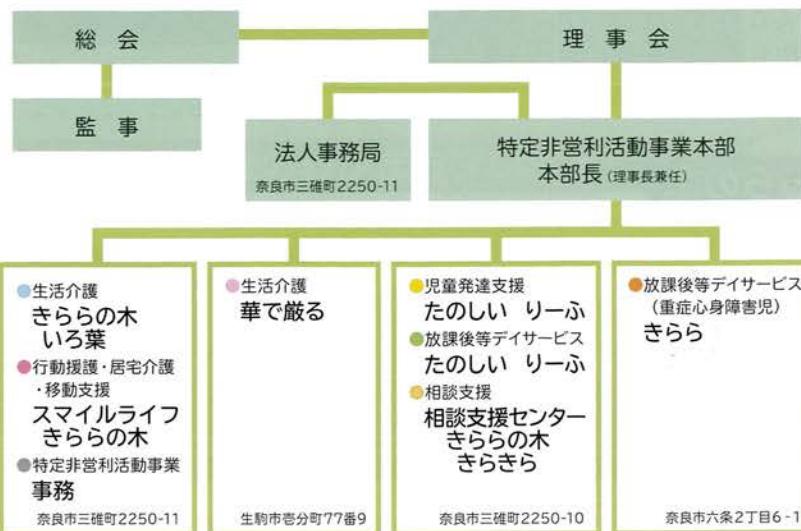
その他の役員

社 員

賛助会員

ボランティア

後援団体 等



沿革

2007年4月1日

●養護学校卒業後の進路について会合をはじめる

2008年9月1日

●きららの木準備委員会発足

2009年2月28日

●特定非営利活動法人 きららの木 設立総会

2009年7月8日

●特定非営利活動法人 きららの木 法人格取得

2011年5月1日

●児童デイサービス「きららの木 りーふ」開設

2012年3月1日

●生活介護事業「きららの木 いろ葉」開設

2012年10月1日

●行動援護事業・地域生活支援事業移動支援
「スマイルライフ きららの木」開所

2013年4月1日

●放課後等デイサービス「たのしい」開設

●児童発達支援「たのしい」開設

2013年10月1日

●指定特定相談支援 相談支援センター「きららの木 さらさら」開所

●指定障害児相談支援 相談支援センター「きららの木 さらさら」開所

2014年5月1日

●居宅介護「スマイルライフ きららの木」開所

2015年3月1日

●生活介護事業「華で敵る」開設

2017年7月1日

●生活介護事業「きららの木 いろ葉」移転

●法人事務局移転

●居宅介護・地域生活支援事業移動支援・行動援護事業
「スマイルライフ きららの木」移転

2017年7月1日

●放課後等デイサービス(重症心身障害児)「きらら」開設

2017年9月1日

●放課後等デイサービス「きららの木 りーふ」・「たのしい」と
児童発達支援「たのしい」が移転し「たのしい りーふ」に名称変更